

毎月5日と20日は  
無火災推進日です



# 松ヶ崎消防報

消防報は松ヶ崎学区の皆様からの助成金により制作・配布しております。

発行日:令和2年1月13日  
発行:左京消防団松ヶ崎分団  
発行者:河村栄二  
編集:山田 勉・後藤明士  
DTP:映像・デザイン制作 AGE1(エイジワン)

## [新年のご挨拶]

左京消防団松ヶ崎分団 分団長 河村栄二

あけましておめでとうございます。謹んで新春のお祝いを申し上げます。松ヶ崎学区地域住民の皆様に於かれましては、日頃から消防団活動に対し多大なるご支援とご理解をいただきしておりますことに心より感謝しております。

子どもの頃から松ヶ崎は住みよい街と感じおりましたが、分団長に就任して改めて、それが松ヶ崎にお住まいの皆様の防火防災に対する意識の高さのおかげであることに気付かせていただきました。皆様の日頃の成果もあり、昨年は火災ゼロを達成いたしました。これからも私達消防団員は消防署、自主防災会、そして地域住民の皆様と連携しながら予防活動、警防活動、消防訓練に励んでいきたいと思っております。今後とも温かく見守っていただきますよう、よろしくお願ひいたします。

来年6月には左京区の消防団を代表して、27年に一度の京都市総合査閲に出場いたします。松ヶ崎分団の日頃の活動が評価される大事な大会です。それに向けて夜間、時には早朝から訓練をすることもあり、小学校運動場付近にお住まいの方々にはご迷惑をお掛けすることもあるかもしれません、どうかご理解とご容赦を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

本年も皆様にとって幸多き年でありますように。

## [災害に強い学区を目指し]

松ヶ崎自主防災連合会 会長 中島熙泰

あけましておめでとうございます。希望に満ちた新しい年を迎えられましたこと、心よりお慶び申し上げます。

昨年松ヶ崎小学校を会場に行われた総合訓練には、多くの方が参加をしていただきました。また、PTAやおやじの会の皆様方にご協力をいただいたこともあり、幅広い内容の訓練を行うことができました。ご協力いただいた皆様には重ねて御礼申し上げます。ありがとうございました。

さて、地球温暖化によって世界的に異常気象がもたらされており、今まで安心だった地域でさえ、絶対に安心とはいえないようになりました。自主防災会としても、学区の皆様の安全が確保できるような避難所の運用を心掛けてまいります。避難所である小学校には、避難所専用無線機が設置され、また避難時の簡易トイレ用の下水管が設置されることになっております。

学区民の皆様には、常日頃から防火防災に関心を持っていただき、総合防災訓練だけでなく、各ブロック別訓練にもご参加いただき、ご助言いただくようお願いいたします。そのことが、学区の防災力を高めると共に、自助・共助の一層の強化に繋がるものと確信しております。

本年も消防分団のご指導の下、町内会と共に災害に強い学区を目指してまいります。今後とも皆様方のご支援、ご協力をお願い申し上げます。



## [消防分団の活動に引き続きご支援ご協力を]

松ヶ崎消防分団後援会 会長 芝山宗昭

皆様にはご家族お揃いで輝かしい新年を迎えたこと、心からお慶び申し上げます。

さて、昨年は台風や気象前線が関東や東北に偏ったためか、松ヶ崎にとって風水害を免れた1年でありました。しかし、比較的平穏であった昨年でも、消防団幹部は、二つの台風接近時に発令された警報に対応して、小学校南西角にある屯所（消防分団器具庫と言う）内で、待機していたと聞いています。地震など広域災害下、署員数不足となる事態に備えてのポンプ放水訓練や火災予防広報活動などを合算すると、分団員個々人の年間出動回数は40回を超えるているようで、頭の下がる思いであります。

なお、4月から5月にかけて、小学校校庭内で、十数回の部隊行動訓練（模擬放水所作を含む）が行われています。これは個人主義や役所依存風潮から分団員を解放させる意義ある訓練と聞いています。近隣住民の皆様が、若干の騒音発生に寛容であられるよう、後援会長からもお願いいたします。

## [新年のご挨拶]

京都市左京消防署長 藤 哲也

松ヶ崎学区の皆様、新年あけましておめでとうございます。

令和最初の輝かしく、希望に満ち溢れた新年をそれぞれのご家庭でお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

また、平素より左京消防団、左京消防署に対して、ご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。

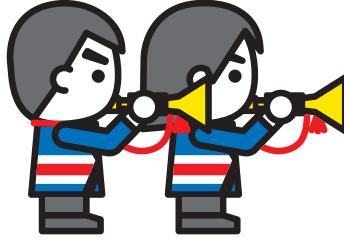
昨年は、元号が平成から令和へと変わり、新天皇の御即位に、国民も大いに沸き立ちました。

さて、昨年は国内外で社会的影響の大きい大規模な火災が多発しました。京都市では、京都アニメーション第1スタジオの放火による火災で、京都市消防局発足以来経験したことのない多くの人が犠牲となる火災が発生いたしました。また、沖縄県那覇市の首里城での大規模木造建築物の火災や、フランスパリで発生したノートルダム寺院の火災などは、テレビやインターネットでショッキングな映像を見られたことと思います。一方で、左京区内の火災発生件数についても、33件と前年と比較して10件の大幅な増加となりました。

市内の救急出動件数も、78000件と、前年より、微小したものの、依然高い件数で推移しています。

火災をはじめとする、あらゆる災害から、自身や大切な人を守るために地域の皆様との絆をより一層深めていただくことが大切です。左京消防署といたしましても区民の皆様の安心安全を確保するため、消防団・自主防災会をはじめとする地域の皆様としっかりと連携して参ります。令和2年の年が、学区民の皆様にとって素晴らしい年となりますことをご祈念いたしまして、新年のあいさつといたします。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。



## 1. 令和元年度左京消防団総合査閲:5月26日(日)

精華大学グランドで左京区内27分団が集結。松ヶ崎分団も18名が参加し、行進、整列、手帳確認の点検や小型ポンプ操法の査閲が行われました。

点検査閲は河村分団長指揮の下、メリハリのある力強く正確な所作を披露することができました。

団員の結束力と日頃の訓練の結果、最優秀分団に贈られる「市長表彰」を2年連続で獲得し、併せて小型ポンプ操法の指揮者と一番員がMVPにあたる「優良団員表彰」を受けました。練習の成果が結果に結びつき、団員全員の士気が更に高まりました。

令和元年度の「京都市総合査閲」には久多分団が左京区を代表し出場しましたが、令和3年には松ヶ崎分団が出場する予定です。京都市総合査閲でも上位の成績を収めるべく、本年から来年へ向かって訓練を重ねて参りますので、地域の皆様の応援をよろしくお願いします。



## 2. 妙法送り火警備活動:8月16日(金)夜

天候にも恵まれ、五山送り火が開催されました。松ヶ崎分団は「妙」「法」二山の警備を毎年行ってあります。左京消防団本団から今井副団長、小林副団長指揮の下、松ヶ崎分団員24名、下鴨分団員3名、葵分団員2名など近隣分団の支援も得て、「妙」と「法」に別れ、消防隊の支援や鎮火確認、点火ご奉仕される方々の足元を照らす等の活動を行いました。熱帯夜に分厚い活動服を着て、燃え立てる送り火のそばで警備するのは大変ですが、点火の瞬間、市街から一斉にフラッシュが焚かれるのを見るとなにか誇らしげに感じ、暑さも忘れました。



## 3. 前川および井出ヶ鼻水門清掃活動:9月8日(日)

松ヶ崎分団員12名で農業用水（兼防火用水）となる、学区内を流れる「前川」とその高野川からの取水口である、「井出ヶ鼻水門」の泥上げ清掃を水役さんらと行いました。水門清掃においては、水災被害を想定し、ロープで安全を確保するロープ使用訓練、土嚢作成訓練、スコップ・ヤンジャを使った土砂排出訓練を行いました。松ヶ崎の川に清らかな水が円滑に流れるように、毎年恒例の活動となってあります。

### 左京消防団松ヶ崎分団組織図

#### 第1班〔東&北東〕

分 団 長 河村 栄二（三反長町）  
副分団長 西郡 藤夫（小脇町）  
（総務担当）  
副分団長 蒔田 桂三（正田町）  
（警防担当）  
副分団長 京極 康生（三反長町）  
（予防担当）  
副分団長 矢野 博敏（井出ヶ海道町）  
（教育担当）

#### 第2班〔中&南〕

部長 山田 勉（警防担当）  
部長 山田 信雄（予防担当）  
班長 山田 茂昭（総務担当）  
班長 兵田 大和（予防担当）  
団員 早海 哲司  
団員 後藤 明士

#### 第3班〔西&北西〕

部長 三宅 勝（総務担当）  
班長 樋口 竜弘（教育担当）  
班長 藤井 照夫（警防担当）  
班長 島内 研（予防担当）  
団員 板垣 晋  
団員 佐々木啓太  
団員 勝山 典一  
団員 梅津 康正（警防担当）  
部長 才津 和範（教育担当）  
団員 山田 徹  
団員 佐橋 学  
団員 宇佐美賢一  
団員 秋吉 秀樹  
団員 北川 琢也

松ヶ崎消防分団HP  
〔松ヶ崎学区自治連合会監修〕



<http://kyoto-matsugasaki.com/dantai/shobo-bundan/>

左京消防団 松ヶ崎分団

松ヶ崎堀町40 小学校南西角

075-724-1119

(5日・20日 20:00～22:00 受付電話)